

国際理工情報デザイン専門学校 様におけるCAD試験活用事例

◎学 校 概 要

「アットホーム教育」をモットーに、“就職に強い”専門学校です。
在学中はもちろん、卒業後も国際理工のファミリーとして永く親しいお付き合いをし、
人間愛あふれる心の故郷となる専門学校を目指しています。

学 校 名 : 学校法人 国際理工専門学校
国際理工情報デザイン専門学校
設立年月 : 平成3年3月
定 員 数 : 245名(1学年全学科総数)



◎CAD試験を受験した方に聞いてみました

・初めて初級の図面を見たときの感想はどうでしょうか



小田 瑞希さん
(建築設計科2年生)
千葉県立市川工業高等学校 出身

- ・小田さん：
工業高校では、主に木造の図面を作図していたので、RC（鉄筋コンクリート）造の図面と知ったときは驚きました。
また、初級に合格後、中級も受験しようと思い、過去の図面を見て勉強すれば、何とか合格できそうだと思います。



金子 勇志さん
(建築設計科1年生)
千葉県立富里高等学校 出身

- ・金子さん：
本校に入学して建築に関する勉強自体が初めてで、図面を見る機会が少なかった事もあり、最初は難しいと思いました。また、受験するには、建築に関する知識が必要だと思いました。



櫻井 翔太さん
(建築設計科1年生)
千葉県立京葉高等学校 出身

- ・櫻井さん：
初めて問題の図面を見たときは「難しいな」「受験しても合格するかな」と不安でした。

・合格するためにどのような練習をしましたか

・小田さん：

初級を受験する時には、授業時間中に練習していましたが、中級を受験時には、家のパソコンにフリーソフトのJW-CADを入れて練習をしていました。

図面の描き方はある程度知っていたので、練習するとき気をつけていたのは、素早くイメージした描き方で図面が描けるようにCADのコマンドを複数活用し、効率の良い操作手順を考えて、図面を描くようにしていました。

・金子さん：

授業時間中に練習していましたが、授業で納得がいかなかったときは時間外にも練習を行っていました。

練習時に意識していたのは、「CADのコマンドや操作を何となく覚えている程度」、では合格できないと思ったので、コマンドや操作を確実に使いこなせることを意識しながら練習をしました。また、図面を効率よく描けるように、CAD機能を効率的に活用出来るように練習しました。

・櫻井さん：

金子さん同様に、もう少し練習が必要と思ったときは時間外にも練習をしていました。

練習のとき意識していたのは、効率よく作図するために図面を反復して描くことです。

また、CADの操作方法や図面の描き方がわからないところは先生に聞いて、的確に操作出来るよう練習しました。

・合格してから何か変化はありましたか

・小田さん：

初級、中級と合格し、履歴書に「CADトレース技士」と書け、就職の面接時に自信を持ってCADの資格を持っていると言えました。

・金子さん：

入学当初に比べて、図面が読めるようになり、作図する時にも効率的な作図方法が思い浮かぶようになりました。

・櫻井さん：

普段何となく見ていた図面が、頭の中でどんな建物かイメージできるようになりました。

また、初めて取った建築の資格で取得時は大変うれしく、達成感があり、その後も建築の図面を描く事が楽しくなりました。